

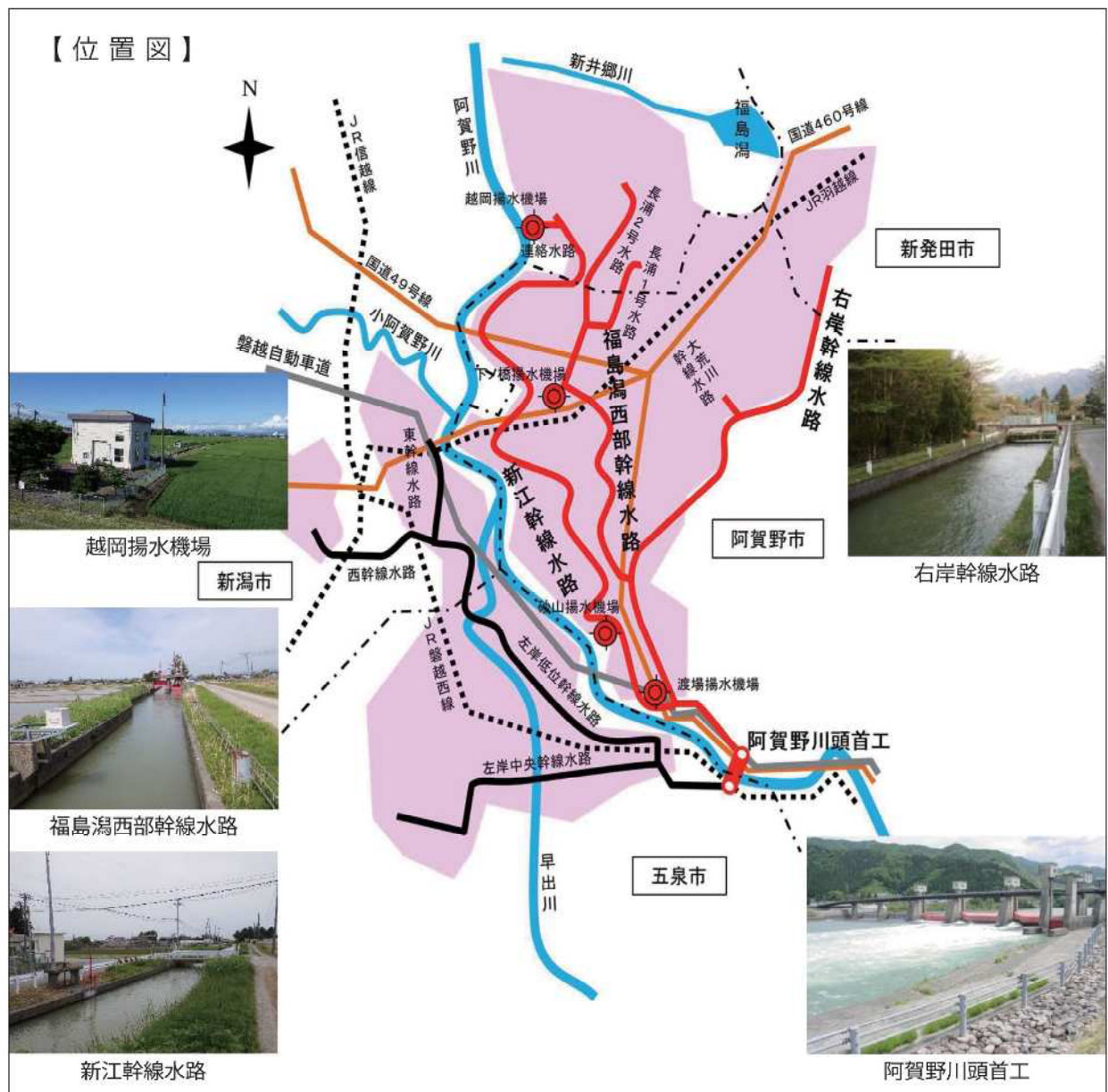
## 地域整備方向検討調査「阿賀野川沿岸地域」の概要

### 1. 地域の概要

本地域は、新潟県のほぼ中央を流れる阿賀野川の左右岸に広がる阿賀野市、新発田市、五泉市及び新潟市の農地面積約 12,000ha の稲作経営を主体とした農業地帯です。

本地域の農業用水は、国営かんがい排水事業「阿賀野川用水地区」(昭和 36 年度～昭和 58 年度)により造成された阿賀野川頭首工、幹線用水路及び揚水機場により供給されており、地域における農業生産性の維持向上及び農業経営の安定に大きな役割を果たしています。

また、阿賀野川頭首工から取水された水は農業用水のみならず、工業用水及び水道用水にも利用されており、地域の生活安定のためにも大きな役割を果たしています。



## 2. 地域の課題

本地域の基幹的水利施設である阿賀野川頭首工においては、造成後約 50 年以上が経過し、老朽化が進行しているとともに、レベル 2 地震動※に対する耐震性能を有していない状況にあります。

また、本地域の幹線用水路及び揚水機場においては、造成後約 40 年が経過し、施設の老朽化の進行に伴い農業用水の安定供給に支障が生じているとともに、近年の営農形態に則した農業用水の調整が困難であることから、水路下流では恒常的な用水不足が生じています。

(※レベル 2 地震動：構造物が受けるであろう現在から将来に渡って想定しうる最大規模の地震)



【阿賀野川頭首工】  
(上流より臨む)



【阿賀野川頭首工】  
(下流より臨む)



【右岸幹線用水路】  
(目地部分からの漏水)



【長浦 1 号水路】  
(アルカリ骨材反応)



【新江幹線用水路】  
(目地部コンクリート剥離)

## 3. 調査内容

本地域は平成 27 年度より地域整備方向検討調査に着手し、阿賀野川頭首工の耐震対策に係る検討を行うとともに、老朽化が進行している施設の改修・更新及び農業用水の配水管理を適正に行うために必要な施設の整備構想を検討し、地域農業の生産性の維持向上と農業経営の安定を目指した事業構想を検討しています。